

# 不利のなかで育つ若者の移行過程とその支援者の形成／変容——日本で育つ南米系移民2世

## セミナー内容:

周辺化された人びとのエイジェンシーは主流社会の規範から逸脱する行為を導くために、結局は不平等の再生産につながると指摘されてきた。本報告はまず、日本育ちの南米系移民2世を事例とし、不利のなかで育つ若者たちの大人への移行過程における構造的制約とエイジェンシーの行使のありようを報告する。そのうえで、そのような子ども・若者を支援する支援者が相互行為のなかで規範や実践を変容させる様相をつかむことで、不利な層の人びとのエイジェンシーが社会変容へと結びつき得る契機を探る。

日時:2022年12月10日(土) 14:00-16:00

主催:国際社会学若手研究会

形式:ハイブリッド 神戸大学鶴甲第一キャンパス E411 教室

講演者:山野上麻衣(一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程)

申込:[https://bit.ly/Promis\\_20221210](https://bit.ly/Promis_20221210)

こちらのQRコードからもお申込みいただけます→  
オンライン参加の方にはミーティング情報を後日お送りいたします。



## 山野上麻衣

学部卒業後、外国人集住都市の不就学対策事業にて、おもに南米系の子どもたちへの学習支援や家族への相談対応に従事。修士課程を経て、経済危機対応のための全国規模の不就学対策事業の運営に5年間従事。現在は、一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程に在籍し、移民を対象としながら、困難や不利のなかで育つ子どもや若者、またその支援について研究している。社会福祉士。